

梅雨の大雨・台風に備える

問い合わせ 防災安全課 防災対策係（内線519・531）

本当に身近な
災害リスク

この写真と表紙の写真是、
過去、本市では自然災害に

より大きな被害が発生しました。
昭和48（1973）年の大雨では、14人が亡くなり、
22棟が全半壊、897棟が床上・床下浸水。平成15（2003）年の豪雨災害では、1人が亡くなり、42棟が全半壊、344棟が床上・床下浸水しました。



— いつでも、災害リスクは近くに —

災害に備える・3つのアクション

その1 日ごろの備えを点検！



・非常時持ち出し品の準備はできていますか。

・食料品や飲料水などの賞味期限や消費期限、懐中電灯やラジオの電池を確認しましょう。

その2 ハザードマップで地域のリスクと避難場所を確認！

・河川の周辺は、洪水浸水想定区域に指定されています。河川が氾濫した場合の浸水範囲・深さを示しています。確認しておきましょう。

・自宅近くの「指定緊急避難場所」「指定避難所」を確認しましょう。そこにたどり着くための安全な避難経路は、複数選んでおきましょう。



その3 「命」にかかる情報配信サービスに登録・確認！

・災害発生時、気象情報・避難情報などを配信しています。さらに、市のサービスでは、災害対応の状況や、避難所開設などの情報も配信しています。

・福岡県の「防災メール・まもるくん」に登録／防災アプリ「ふくおか防災ナビまもるくん」▼をダウンロード。

・市の災害情報配信サービスに登録。防災安全課へ連絡を。

※登録者には、6月3日(月)に試験配信します。

・dボタン広報誌を閲覧。
テレビのリモコンでKBCテレビ（1チャンネル）を選局して、dボタンをプッシュ。

非常持出品リスト(参考)	
□ 非常食	写真は1日分。
□ 飲料水	3日分用意しましょう。
□ 食用品ラップ	
□ ウエットティッシュ	
□ 口腔洗口液	
□ 歯ブラシ	
□ モバイルバッテリー	
□ 懐中電灯	
□ 携帯ラジオ	
□ 紋創膏	
□ 缶	



地域の大学と連携して防災士を養成

全国的に広まる「防災士」は、最年少で7歳が少年消防団で活躍中。最近では女性防災士も増加中です。防災に関する正しい知識を身につけ、災害時は「自助・共助」の中心として、地域で活躍できる「防災士」を養成します。

日 時 8月3日(土)・4日(日) 午前9時～午後5時 (2日間)
希望者は、最終日に資格試験を受けられます。

場 所 日本経済大学 福岡キャンパス
費 用 受講無料(別途、教科書代／希望者は資格試験代などが必要)
申込方法 6月3日(月)～7月5日(金)に、日本経済大学 地域連携センターへ
☎(921)9814 FAX(921)9824 chiki@fk.jue.ac.jp



このような大規模災害は、いつ身近に起きてもおかしくありません。梅雨から台風シーズンにかけては特に、大雨や台風が接近しているニュースや気象情報を見聞きしたら、危険な場所に近づかないようになります。また、日ごろから災害に備えることが必要です。今回は、市民の皆さんに気をつけてもらいたい災害対策のポイントを、特集でお知らせします。

過去、本市では自然災害により大きな被害が発生しました。昭和48（1973）年の大雨では、14人が亡くなり、22棟が全半壊、897棟が床上・床下浸水。平成15（2003）年の豪雨災害では、1人が亡くなり、42棟が全半壊、344棟が床上・床下浸水しました。

この写真と表紙の写真是、過去、本市では自然災害により大きな被害が発生しました。昭和48（1973）年の大雨では、14人が亡くなり、22棟が全半壊、897棟が床上・床下浸水。平成15（2003）年の豪雨災害では、1人が亡くなり、42棟が全半壊、344棟が床上・床下浸水しました。

全国最多の

「大雨特別警報」発表

福岡県では、昨年7月9日～10日の短期間のうちに、大雨特別警報が6回発表されました。全国でも最多の回数で異例の頻度です。この状況下で、特に被害が大きかった久留米市では、警戒レベル最大のレベル5が発令されました。

警戒レベルが示す 「避難情報」に注意

全国で統一された警戒レベルに応じて「避難情報」が発令されます。その時に発生した災害の規模や、時々の状況に合わせて、発出される警戒レベルは変わります。

避難時のポイント

- ・近所の人と声を掛け合い、一緒に近くの安全な場所に避難しましょう。指定避難所、安全な親せきや知人の家、安全なホテルや旅館へ。
- ・建物内での避難は、限られた状況で行いましょう。「自宅が浸水想定区域ではない」「浸水の深さよりも建物が高い場所にある」「水と食料の備えが十分にある」場合のみ。

警戒レベルの段階



「熱中症特別警戒アラート」の運用が始まります

福岡県内、全12カ所の観測地点で、翌日の気温が著しく高くなり熱中症による重大な健康被害のおそれがある場合、前日の午後2時に「熱中症特別警戒アラート」が発表されます。

過去に例のない危険な暑さにより、重大な健康被害が生じるおそれがあります。「熱中症特別警戒アラート」が発表されたら、冷房を使用し、できるだけ外出を自粛しましょう。



対策会議の様子

「クーリングシェルター」を利用してください

ページID:34713

本市ではいち早く対策会議を開催し、暑さをしのぐ一時的な避難・休憩場所として、市内17施設を「クーリングシェルター」(指定暑熱避難施設)に指定しました。施設の通常営業時に利用できるように開放しています。熱中症リスクを減らしましょう。



「クーリングシェルター」の目印

P20 ここにちは保健師ですで、熱中症予防について掲載しています。